



「不屈」No596 付録
埼玉版 (No424)

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
埼玉県本部

〒330-0063

さいたま市浦和区高砂
2-3-10 黒澤ビル3B

電話・Fax 048-824-0094

✉ chian2022@gmail.com

映画「わが青春つきるとも」埼玉会館の上映会に4百余名が参加、「9条守り、戦争させない」決意新たに……、第3次「上映運動」更に進め、「闘いの輪」を広げよう



挨拶する加藤ユリ会長

1月18日(木)埼玉会館小ホールで埼玉映文協と県上映実行委員会共催の「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯「新春上映会」が開催され413名の方が鑑賞されました。

同会場では、22年5月に約600名で上映会を開催し、今回2回目のアンコール上映となりましたが、映文協の共催とあつて多方面からの参加者が目立ちました。

能登地震支援募金 16万4千円

共同代表の加藤ユリ(治安維持法国賠同盟埼玉県本部会長)と伊藤稔(埼玉原水協代表)が主催者挨拶し、能登半島地震支援募金について訴えに、多くの方々から募金袋に支援メ

〈国会請願三項目〉

- ①国は、治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
- ②国は、治安維持法犠牲者に謝罪し賠償を行うこと
- ③国は、治安維持法による犠牲の実態を調査し、その内容を公表すること

ツセージを書き込んだ164、707円もの募金が寄せられました。なお、募金は後日「埼玉連」を通じて全額現地へ届けました。

また当日は、桂壮三郎監督と原作者の藤田廣登さんが来られ、書籍サイセンサーが行われ大好評でした。また、会場では、国賠同盟に入会する場面もあり、拍手がおきました。

感動呼ぶ参加者の感想……

「大変よかった。千代子さん他、女性の闘志に感動した」、「私たちは一票の重みをもっと尊いものとして自分たちの声を出して行かなければいけないと思った」、「今の憲法を守る運動をもっとがんばらねばと思いました」、「治安維持法の残酷さがよくわかった。今この方向に向かっていく日本の政治に対する警告映画です」、「あらためて伊藤千代子の生き方を学ぶ映画で感動しました」、「千代子さんのゆるぎない信

念にこれ程までに強い女性がいらつしやったのかと驚きと感動でした」、「色々と考えさせられる映画でした。ありがとうございます」、「この心ざしを、私も引きついでいきたいと新たに決意しました」、「現在の平和が、これらの力で実現できたことを実感いたしました」、「改めて治安維持法のことを知り、残酷さと時代のおそろしさを感じ、今後の参考と学びとなりました」、「観る機会がなく気になっていた。今日観ることができ、大変な時代を経て、今があることを強く感じます」、「平和が、続きますよう微力ながら頑張りたい」、「筋を通した人、あたかいリーダー、心があらわれしました」、「とても感激しました。涙を流しました。戦前の様子がよく判った。今の政府をつぶすまで、頑張ります!」などの声が沢山寄せられました。一部を紹介しました。

鑑賞目標8千人に向け努力

埼玉での「第3次上映運動」は、この間、緑区、坂戸・鶴ヶ島、旧大宮市地域、今回の埼玉会館と4会場で713名集め、これ迄の鑑賞者数は約6千名になりました。目標の8千名めざしますの「上映会」を企画・開催してまいりますので協力ください。

読者のひろば

山本薩夫監督・名画
『武器なき斗い』
の観賞のお薦め…

昨年、行田・羽生支部が永島東京山宣会々長を講師に「山宣について」の学習会を行った際、映画「武器なき斗い」を見たことがない人がほとんどで、先日上映会が開催され入会者が生まれる成功をおさめました。

私は、いまの時代にこの映画をより多くの方に見てもらいたいと思つています。何故かと云うと、この映画には「世直し」運動に必要なエキスが全て詰まつていと思うからです。

映画は、山宣没後30周年を記念して、関西在住の3千人が発起人になり、「実行委員会」を結成、勤労者らのカンパで作られ、60年10月12日、社会党委員長浅沼稲次郎がテロで暗殺された事件の直後に公開され注目を集めました。私が、最初に此の映画を観たのは61年の秋、当時お茶大に通っていた学妹に誘われ学園祭で観たのが最初でした。当時は、大学でこの様な映画が盛んに上映され若者に影響を与えていました。その後、DVD化されたのを機会に何回も観て見るたびに学ばされました。



山宣刺殺のシーンが
すざましい…

観てみたい方 県本部まで

私一言



映画をとおして学び、考え、社会の発展に貢献していきたい

埼玉映画文化協会 舟橋 一良

1月18日(木)に開催した映画「わが青春つくる」ともー伊藤千代子の生涯―上映会に四〇〇名をこえる方に参加をいただき、ありがとうございます。埼玉県上映実行委員会の中核を担われた国賠同盟、「不屈」読者の皆様に感謝いたします。

埼玉映画文化協会では、日本と世界の歴史、平和と人権の大切さや社会で起つていける様々な出来事を、映画をとおして学び、考え、社会の発展に貢献していきたいと考えています。

そうした活動の一つとして、毎月、浦和の埼玉会館で上映会を実施しています。

次回2月28日(水)には、「おじいさんと草原の小学校」というアフリカ大陸のケニアが舞台の映画を上映します。主人公はキミニ・マルゲという実在した人物で、世界最高齢の小学生として話題になった人です。このマルゲさんはイギリスの植民地支配から独立を勝ち取った闘いに携わっていた闘士で、国家賠償と教育のすばらしさが物語のキーワードとなる映画です。ぜひお出かけください。

熱風

ドイツ政府が、かつて植民地として支配していたナミビアで行った虐殺について、正式に「ジェノサイド」と認め、謝罪して犠牲者に約1

500億円の復興・開発支援金を拠出すると表明したのは2年前の話だが、昨年オランダ国王は19世紀半ばまで関わった奴隷制や奴隷貿易について「人道に対する犯罪だった」と認め、謝罪した▼いま世界では、植民地支配と奴隷制度の責任を過去にさかのぼって謝罪する動きが大きく広がっており、抑圧された民族の尊厳の歴史的回復が着実に前進している。こうした世界の流れに照らし、いまだに侵略戦争と植民地支配への真摯な反省をしない日本の自民党政治のあり方が厳しく問われている▼いま「国賠同盟」が取り組んでいる、弾圧犠牲者への謝罪と賠償の要求は、同じ軍事同盟国だった、ドイツやイタリアでは既に済んでいるのに、いまの日本の政府は動こうともしない。一日も早い政権交代が求められているのではないだろうか。

【お詫びと訂正】

先月の同欄の終わりから4行目の21世紀には「決着をつける」と呼び…を20年代には…に訂正します。

埼玉県の戦前における

「社会進歩のたたかいと抵抗の歴史」

連載
第6回

埼玉の女性の先駆者たち ③

井上 直は、女子教育の必要性を主張した教育者です。直は一八六六(慶応二年)、秩父郡下吉田村(現秩父市)の井上豊作・せき(秩父事件の井上伝蔵の姉)の長女として生まれました。椋宮学校卒業後、八一(明治一四)年に医師をめざして上京、松本荻枝の止敬塾に入ります。が、秩父事件でいったん帰郷。八五年に開校されたばかりの明治女学校に入学します。明治女学校は、校長木村熊二、教員津田梅子・人見ぎん・富井於菟がいて、まだ生徒数四五名の小さな学校でした。しかし、二年後には生徒数二二〇人、教員二〇人、校医二人に発展します。校医の一人は荻野吟子でした。

直は八六年(明治一九年)七月、『日本婦人纂論』を出版しました。これは、当時の注目すべき婦人論を集めたもので、内容は、「我が国には男尊女卑の風習あり」、「男尊女卑の風習破らざる可らず」、「日本婦人論」、「女権伸張の方法如何」、「女権伸張の余論」からなっています。出典を明らかにしていませんが、当時『時事新法』に掲載された福沢諭吉の論文、『東京横浜毎日新聞』等の婦人論を編集したものと思われます。題字は啓蒙思想家・教育家の中村敬字が書き、直自身が書いた「緒言」には、女子の教育を拡張することが最も急務であり、女子は国家教育の基礎であり、女子の専門学を修める学校の必要性を主張しています。自由民権の理論的指導者植木枝盛の日記には、明治女学校の文学会で井上直が演説したことが記されています。直は明治女学校卒業後、東京府の公立泰明小学校の教員を務め、一九二三(大正一二)年に退職。晩年は郷里の下吉田村に帰り、二九年(昭和四)四月二〇日に逝去、享年六三歳でした。(続く)

「女性の会」が学習会を開催

昨年名称も体制も一新して再開された、埼玉同盟の「女性の会」は、先ず最初の催しとして「治安維持法を基本から学ぼう」と、1月22日、日朝協会の関原正裕会長を講師に「学習会」を開きました。

関原さんは、冒頭、「治安維持法は古い昔の話でなく、現代につながる話」と切り出し、準備した年表と治安維持法の内容を示しながら、大逆事件や関東大震災での弾圧事件から、天皇制下の野蛮な共産党への大弾圧など具体例を交え戦前の闇い話をされました。

そして戦後の日本は、GHQの指令で治安維持法を撤廃はしたが、メーデー事件、松川事件、そして朝鮮人差別問題にも触れながら、いまでも治安維持法は生きている、と戦後の自民党政治の問題点を指摘しました。

参加者からは、「初めて聞く話も多く解りやすい話で同盟の役割もよく理解できた」と、感想が寄せられました。



短歌

松と竹めでたいどころか腹黒い
理性と知性欠片さえなし

春日部市 細谷 宣朗

能登半島地震応援の手立てなきもの
か僅かなカンパ封筒に用意す

宇都宮市 宮地 さか枝

俳句

九六歳冬空ついでいざ出勤

春日部市 浅子 薫衣

初辰に平和安全祈願す

行田市 大野 辰男

老いの身に筋走り来る多喜二の忌

さいたま市 小池 莊市

初雪に人それぞれに動きたす

行田市 鈴木しげる

北風に耐え咲いている冬水仙

行田市 鈴木 みち

川柳

ジェノサイドガザの瓦礫に子の声が

43兆円震災暮らしに使うべし

春日部市 福家 駿吉

同盟文芸



支部長の新年の決意・抱負 ②

行田・羽生支部 大久保忠

支部は、郷土の誇りである故須永甫さんの顕彰と墓前祭に取り組み、その偉業を後世に語り継ぐ強い思いを込め結成し6年目を迎えます。

1月13日に「山宣の生き方、闘い方に学ぶ」第2弾として名作「武器なき斗い」の映画上映と支部総会を開き、会場で1名が同盟に加盟しました。総会は、国賠署名の支部目標5年連続での達成や100%会費納入など組織的前進を勝ち取っていることを確信に、今年も多くの会員が参

加できる学習や企画を行うこと、署名、会員拡大目標を達成することなどを確認しました。元気に楽しい支部活動をしていきたいと思ひます。

ふじみ野支部 権田 圭助

私は、県内の熊谷市(旧三尻村)に生まれ94歳となりました。日本が起こした戦争の最後の世代です。1945年8月15日、熊谷大空襲、市街地の大半がなくなり地獄のような有様でした。言葉に言い尽くせない代償として、平和憲法が生まれ、9条がつけられました。私は、この体験を語り継ぎ、語り継ぐ人をつくりたいと固く決意しています。

埼玉同盟五百人の会員めざし

「会員拡大」情報

会員拡大は6名でした。退会者が1名あり、1月は5人の前進で、50名迄あと6人となりました。

行田・羽生支部が

3割増の「年間目標」達成！

行田・羽生支部は、1月、4名拡大して三割増の年間目標を超過達成しました。大久保支部長は月末に知人宅を訪ね、入会リーフで説明。すると「私の父は軍人で…」と対話になり、「再び戦争と暗黒政治を許さない」を掲げる同盟に賛同し、家族3人を会員に迎えました。

【個人署名】

(201筆)

高田 哲郎	小鹿野町	15筆
望月 たけし	越谷市	49筆
佐藤 俊也	東松山市	6筆
川又 朋子	茨城県	2筆
宮地 さか枝	宇都宮市	7筆
橋本 静修	さいたま緑区	13筆
新日本婦人の会埼玉県本部		3筆
年金者組合埼玉県本部		5筆
国賠同盟 行田・羽生支部		44筆
1・18「千代子」上映会		57筆

【団体署名】

(6団体)

川越地方労働組合連絡協議会、所沢地区労働組合協議会、埼玉アジアフリカラテンアメリカ連帯委員会、同杉戸・宮代、春日部支部、日本共産党さいたま地区委員会、国賠同盟行田・羽生支部、

署名合計 1月31日現在)

個人署名 25639筆

団体署名 36筆

*毎年5月開催の「国会請願」まで、残すところ3カ月となりました。毎月集約しておりますので集めた署名は、県本部まで送って下さい。

3・15、4・16 記念行事

“春を呼ぶついで”にお越しく下さい

とき…3月23日(土)13時半～

ところ…埼玉会館 7B会議室

埼玉同盟は、戦前の大弾圧、3・15、4・16事件を記念して、この時期に、講演会や学習会を開き、近現代史を学び、そして「不屈に闘った人々」を学び、顕彰しながら活動をすすめてきました。

今年の「春をよぶ集い」は、壮烈な闘いで24歳の若さで獄死した飯島喜美について学びたいと思います。

主なプログラム

*あいさつ…加藤ユリ埼玉県本部会長

*記念講演…藤田廣登(国賠同盟中央本部顧問)

演題「女工哀史を超えた紡績女工」

飯島喜美の不屈の青春

*会場からの発言

(当初予定していた玉川寛治さんが体調を壊したため飯島喜美に詳しい藤田廣登さんをお願いしました)

主催：国賠同盟 埼玉県本部&女性の会